

唐津・鎮西ウィンドファームの竣工式を執り行いました

2021年12月22日、先月営業運転を開始した「唐津・鎮西ウィンドファーム」の竣工式を執り行いました。

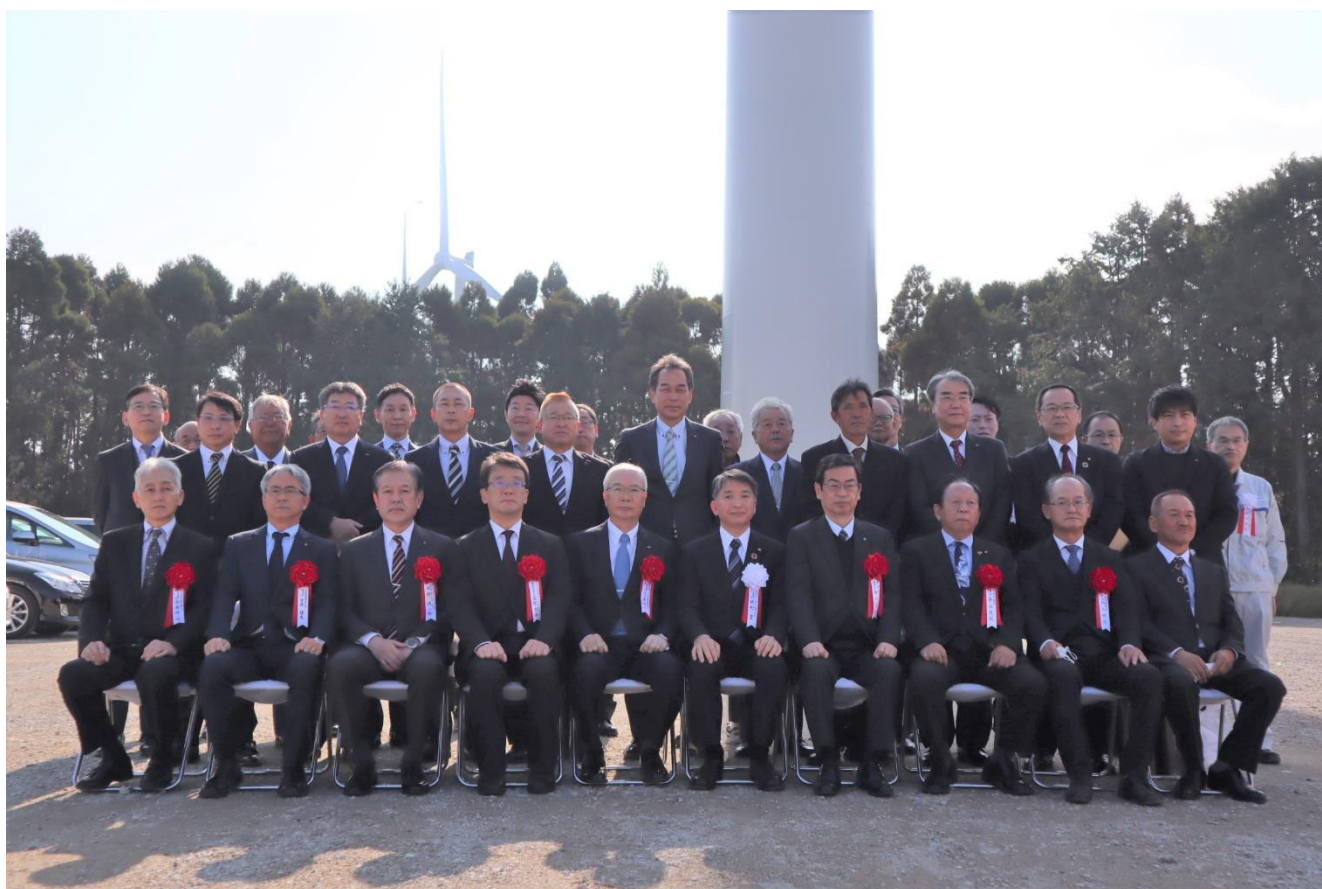
本発電所は、佐賀県唐津市の東松浦半島に発電出力3,400kWの風車を8基(合計27,200kW)設置しており、当社として3箇所目(子会社含む)、運転開始時点で県内最大規模となる陸上風力発電所です。また、風車の全高は133.5m、ブレード(翼)の長さは53mで、1基あたりの発電規模は九電グループ最大です。

竣工式には、ご協力いただいた地元の皆さまや事業関係者等、約40名の方にご出席いただき、唐津市の脇山副市長からは「自然由来の再生可能エネルギーである風力を利用した発電は、化石燃料の消費を減らすとともに二酸化炭素の排出を削減し、更には地球温暖化防止につながるため、唐津市でも積極的に導入を図っているところ。本発電事業も、再生可能エネルギーの先進地として唐津市を大いにPRできる絶好の機会の一つと捉えている」と大変有難いお言葉を賜りました。

施主代表挨拶では、当社代表取締役社長の水町が、これまでご尽力いただいた全ての関係者の皆さまに感謝申し上げるとともに「1基1基完成していく風車の姿を見て、大きな達成感と同時に、これから長きにわたり安全に発電を継続していくという責任を改めて感じた。この地域の資源・恵みである風のエネルギーをしっかりと電気に変えることで、この地域が地球温暖化防止に一役買っているということを皆さまに実感していただければ、我々の大きな励みになる。皆さまに『九電みらいエナジーの風車ができてよかったね』と言っていただけるように、そして地域のシンボルの一つとして認めていただけるように努めてまいります」と意気込みを述べました。

当社は、引き続き地域の皆さまのご理解を得ながら、本発電所を安全かつ長期安定的に運営するとともに、再生可能エネルギー資源を活かした事業を積極的に推進することで、持続可能な循環型・低炭素社会、そしてカーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。

<竣工式の様子>



※前列右から4番目：唐津市副市長 脇山 行人様、5番目：当社代表取締役社長 水町 豊
※撮影時のみマスクを外しておりますが、新型コロナウイルス感染防止対策には十分に配慮
しております。

<発電所の概要>

事業者	九電みらいエナジー株式会社 代表取締役社長 水町 豊
発電所名	唐津・鎮西ウィンドファーム
所在地	佐賀県唐津市鳩川、湊町、屋形石、鎮西町八床
発電出力	27,200kW (3,400kW の風力発電機を 8 基設置)
年間発電電力量	約 5,200 万 kWh/年 ^{※1} (一般家庭約 17,000 世帯分の年間消費電力に相当)
CO2 排出抑制効果	約 19,000t-CO2/年 ^{※2}
着工	2020 年 8 月 28 日
運転開始	2021 年 11 月 2 日

※1 1世帯当り 247.8kWh/月 (2015 年度) で算出。出典：電気事業連合会「電力事情について」

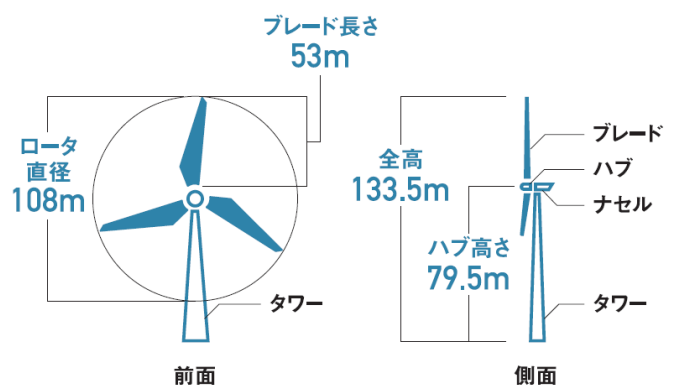
※2 九州電力㈱の CO2 排出係数「0.370kg-CO2 / kWh」(2019 年度) で算出

<発電所の所在地・全景>



<風車の概要>

単機出力	3,400kW
ブレード長	53m
ロータ直径	108m
ハブ高	79.5m
全高	133.5m
メーカー	シーメンス ガメサ リニューアブル エナジー社 (本社スペイン)



<発電所の外観（8号機より）>



<紹介動画・パンフレット>

[当社WEBサイトのライブラリ](#)、[公式YouTube](#)に公開しています。是非、ご覧ください。

<参考：唐津・鎮西ウインドファームに関する過去のお知らせ>

- ・2016年3月9日「唐津・鎮西地区における風力発電事業の調査開始について」は[こちら](#)
- ・2020年8月19日「唐津・鎮西ウインドファームの起工式を執り行いました」は[こちら](#)
- ・2021年3月23日「唐津・鎮西ウインドファームの建設状況を公開しました」は[こちら](#)
- ・2021年11月1日「佐賀県唐津市において唐津・鎮西ウインドファームの営業運転を開始します」は[こちら](#)